

### 認知症に関する活動計画（概要）

今年度も青森県作業療法士会では、3つの柱を中心に計画した。

- ①各市町村の認知症初期集中支援事業の後方支援
- ②地域で活躍できる作業療法士の人材育成
- ③認知症作業療法の普及啓発

<今年度の新たな試み>

認知症作業療法アドバンス研修会（基礎研修会のステップアップ研修）を初めて開催する。

### 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

<昨年度>

県士会としてライトアップ事業に参加。  
街宣活動は中止。

<今年度>

ライトアップ、街宣活動に参加予定。

### 認知症の人と家族の会との連携事業

<昨年度>

認知症フォーラム中止。

<今年度>

認知症フォーラム開催予定（企画・運営に協力。認知症作業療法の普及啓発についての掲示を予定。）

### 青森県士会独自の取り組み

<今年度>

#### ①認知症スタンプラリー

住民へ認知症への理解を高めるため、また認知症の作業療法を理解してもらうために今年度も開催した。  
認知症作業療法普及啓発のため、協力いただいた専門団体に作業療法の特色を説明した。

#### ②人材育成として基礎研修会・アドバンス研修会を開催した。

### 第3回 認知症スタンプラリー

#### 開催報告



参加者: 140名

### COVID-19の影響・対応など

<今年度>

感染予防対策をしっかりと行いながら対面式研修会を開催した。

参加者からは以下のような感想があった。

「各人のリアクションが見えること、他のグループのディスカッションも聞こえることが良かった」

「感染対策として不安な部分ではありますが、対面の方が参加者や講師の方の反応が生で見られて、感じられることがすごく楽しかったです。また、事例検討などオンラインでは話すタイミングが被ってしまったり、逆に黙ってしまったりすることも多く難しさを感じていたもので、対面での間の取りやすさを感じました」

